



株式会社テクノスジャパン 第27期定時株主総会

2021年6月25日

LEAD THE CONNECTED SOCIETY TO THE FUTURE

～ つながる未来を切り拓く ～

◆本総会の議事運営について

- 本総会の議事の運営は議長の指示に従ってください
- 質問をはじめとする一切のご発言は、報告事項の報告および決議事項の上程の後にお受けいたします
- 新型コロナウイルス感染防止の観点から、円滑・効率的な議事の進行により、所要時間が長ならないように努めてまいります

報告事項

第27期(2021年3月期)
事業報告及び計算書類報告

◆第27期(2021年3月期) 連結貸借対照表

招集ご通知
23頁

連結(単位:百万円)

	2020年3月期		2021年3月期			主な増減要因
	金額	構成比	金額	構成比	増減額	
流動資産	3,806	63.5%	4,172	63.7%	+365	現金及び預金 +276 売掛金 +175 有価証券 △101
固定資産	2,184	36.5%	2,379	36.3%	+195	無形固定資産 △103 投資有価証券 +287
資産合計	5,990	100.0%	6,551	100.0%	+561	
流動負債	1,243	20.8%	1,225	18.7%	△19	買掛金 △84 未払法人税等 +237 未払消費税等 △196
固定負債	378	6.3%	351	5.4%	△27	長期借入金 △34
負債合計	1,621	27.1%	1,576	24.1%	△45	
純資産合計	4,369	72.9%	4,975	75.9%	+606	利益剰余金 +425 その他有価証券評価差額金 +199
負債・純資産合計	5,990	100.0%	6,551	100.0%	+561	
自己資本比率	72.6%	—	75.6%	—		

◆第27期(2021年3月期) 連結損益計算書

招集ご通知
24頁

連結(単位:百万円)

	2020年3月期	2021年3月期	前年度比	
			増減額	増減率
売上高	7,677	8,197	+520	+6.8%
売上総利益 (売上総利益率)	1,596 20.8%	2,433 29.7%	+837	+52.4%
営業利益 (営業利益率)	282 3.7%	924 11.3%	+642	+227.2%
経常利益 (経常利益率)	307 4.0%	958 11.7%	+651	+211.5%
親会社株主に帰属する 当期純利益	130	661	+531	+407.1%
1株当たり 当期純利益(円)	6.61	33.52	+26.91	+407.1%
自己資本利益率 ROE(%)	2.7	14.2	+11.5	—
配当額(円)	12	12	0	—
EBITDA	386	1,043	+657	+170.2%

1.売上高は前年度対比増収（3期連続増収）

- ・売上高：8,197百万（前年比 6.8%増）
- ・ERP・CRMへのシステム投資は堅調・好調
- ・アック買収効果（2020年1月買収・10月吸収合併）

2.営業利益・経常利益・純利益ともに前年度対比大幅増益

- ・営業利益：924百万円（前年比 227.2%増）
- ・経常利益：958百万円（前年比 211.5%増）
- ・親会社株主に帰属する当期純利益：661百万円（前年比 407.1%増）

（2020年3月期は特定案件のプロジェクト損失の影響で大幅減益のため）

◆トピック：アック社統合について

アック社の吸収合併によるERPとCRMの連携ビジネスの強化

- 2020年1月 アック社を100%連結子会社とする。
- 2020年7月 アック社の吸収合併を発表
- 2020年10月 アック社を吸収合併 ERPとCRMビジネス連携をさらに強化
- 2020年11月 関西オフィスを統合

テクノスジャパンがクラウドインテグレータ「アック社」を吸収合併 —
国内外のCRMビジネスを強化し、デジタルトランスフォーメーション
(DX) を加速 —

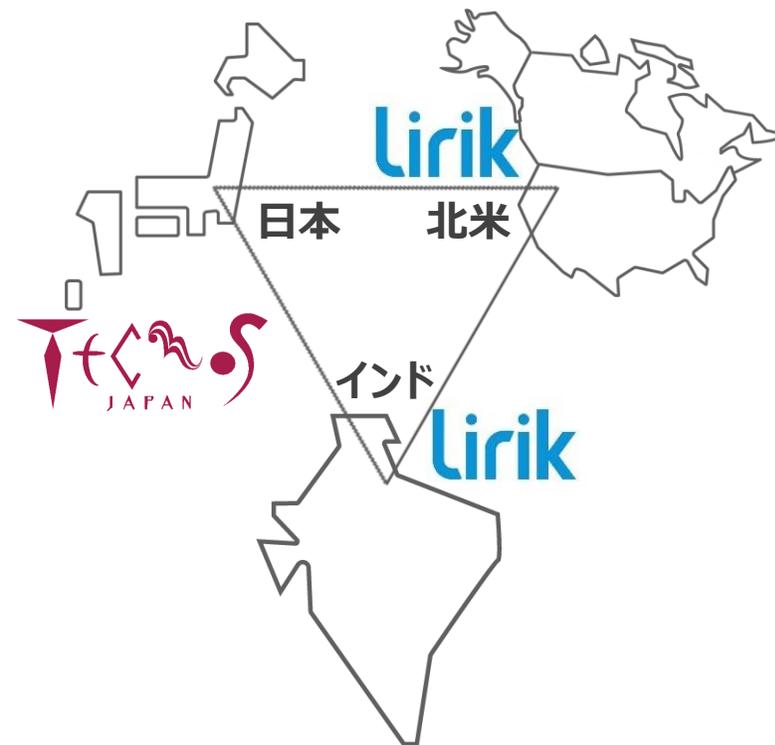
2020.07.10 **PRESS**

DXでつながる未来を切り拓く株式会社テクノスジャパン（本社：東京都新宿区、代表取締役社長：吉岡隆、以下「テクノスジャパン」、証券コード3666）は、関西地区でCRMビジネスを推進するクラウドインテグレータである株式会社アック（本社：大阪市北区、代表取締役会長：奥出聡、以下「アック社」）を2020年10月1日付で吸収合併いたします。

テクノスジャパンは2020年1月にアック社の全株式を取得し、テクノスグループ傘下で協業してきましたが、業務の効率化と迅速な意思決定を図るため、組織を一体化することで、お客様への質の高いサービス提供ができると判断し、今回の合併決定に至りました。アック社のCRMビジネスは、テクノスジャパンの事業部門として発展継承し、創業からコアビジネスとして成長を続けるERPと弊社独自のプラットフォーム（CBP）を組み合わせ、デジタルトランスフォーメーション（DX）ビジネスをより一層強化して参ります。



関西オフィスを統合

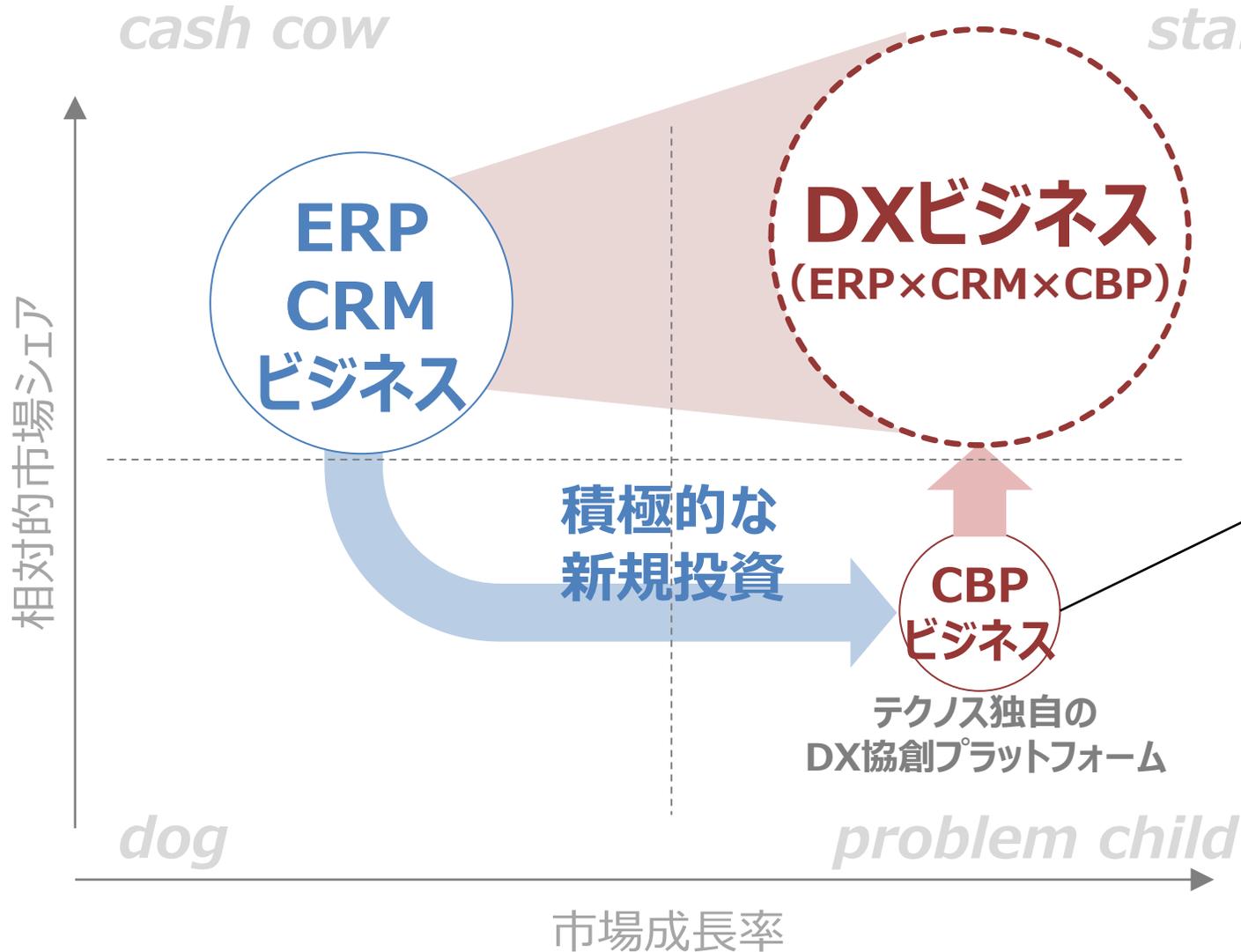


CRMビジネス

- ✓ 日系企業の海外展開サポート強化
- ✓ インドオフショア拠点との連携強化

◆トピック：CBP「注文決済サービス（SaaS）」提供開始

$$DX = ERP \times CRM \times CBP$$



テクノスジャパン、DX協創プラットフォームCBP上に「注文決済サービス（SaaS）」を提供開始 — 企業競争力の強化、ESG経営、持続可能な社会の実現へ貢献 —

2021.05.19 **PRESS**

DXでつながる未来を切り拓く株式会社テクノスジャパン（本社：東京都新宿区、代表取締役社長：吉岡隆、以下「テクノスジャパン」、証券コード3666）は、DX協創プラットフォーム「Connected Business Platform（略称：CBP）」上で「注文決済サービス（SaaS：クラウドサービス）」を2021年5月に提供開始しました。

1. デジタルトランスフォーメーション(D X)推進ビジネスへの取り組み強化
2. 新型コロナウイルス感染拡大による世の中の変化への柔軟な対応
3. グローバルビジネスの拡大
4. 人材の確保と人材価値向上策の推進

◆その他報告事項

招集ご通知
5頁～22頁

その他事業報告

- 企業集団の現況に関する事項
- 会社の株式に関する事項
- 会社役員に関する事項
- 会計監査人の状況
- 会社の体制及び方針

招集ご通知
25頁～45頁

その他計算書類報告

- 連結株主資本等変動計算書
- 連結注記表
- 貸借対照表
- 損益計算書
- 株主資本等変動計算書
- 個別注記表

招集ご通知
46頁～50頁

会計監査人および監査等委員会の 監査結果

- 連結計算書類に係る会計監査人の監査報告書 謄本
- 会計監査人の監査報告書 謄本
- 監査等委員会の監査報告書 謄本

当社グループ 今後の事業展開

◆ 新型コロナウイルスのIT市場への影響と当社グループの対応

IT市場への影響

IT市場全般の環境

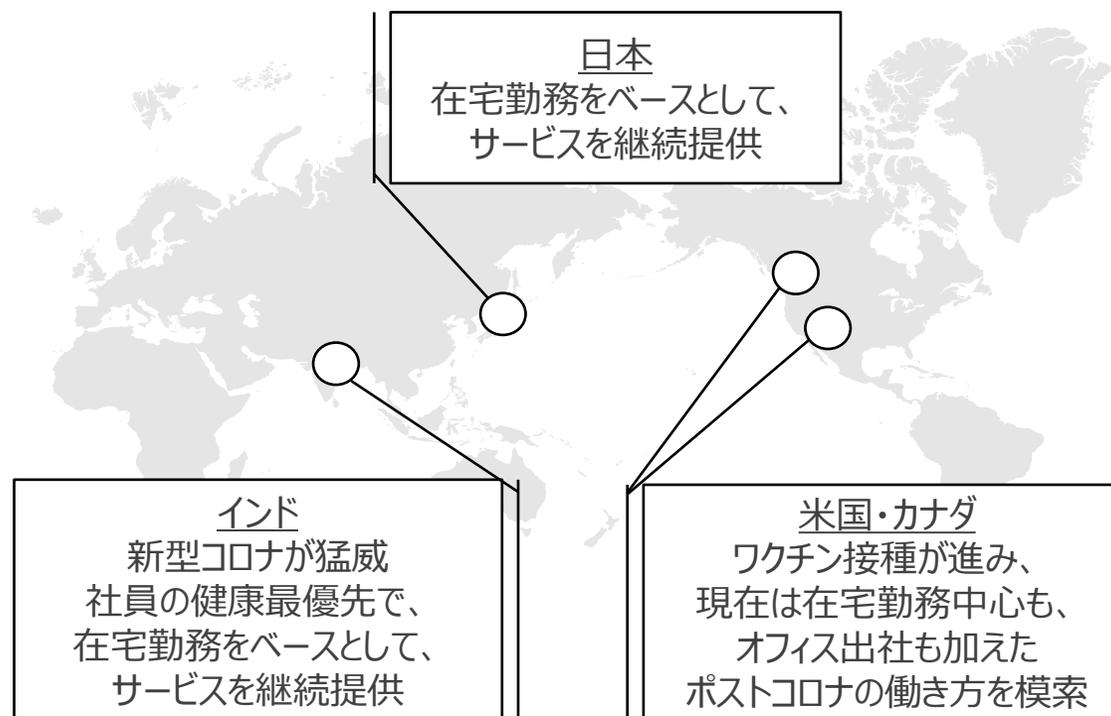
- ✓ 「DXレポート」(2025年の崖) - 企業の様々なIT課題
- ✓ DX (デジタルトランスフォーメーション) 推進の必要性
- ✓ 新型コロナウイルス対策としてのデジタル需要
- ✓ 在宅勤務活用促進によるクラウド化の加速
- ✓ コロナ禍による経営悪化業界企業によるIT投資抑制

当社を取り巻く環境

- ✓ ERP・CRMは堅調・好調
- ✓ いわゆる「2025/27年問題」によるERP再構築ニーズやクラウド型への移行ニーズで中長期的・安定的な需要増
- ✓ CBPのクラウドサービス市場投入により、ERP・CRMビジネスとの相乗効果を見込む

当社グループの対応

現在は、グループ全体で在宅勤務を推奨・推進



ポストコロナの働き方として、
オフィス出社と在宅勤務のバランスのとれた働き方を模索

◆ERP・CRMビジネスの市場ニーズ

堅調な成長が期待されるERP・CRMビジネス市場

- お客様の投資意欲は堅調で、ERP・CRMビジネス市場は右肩上がりの予測
- いわゆる「2025/27年問題」によるERP再構築ニーズやクラウド型へので中長期的・安定的な需要増

図. ERP市場規模推移および予測：提供形態別
(2018～2024年度予測)

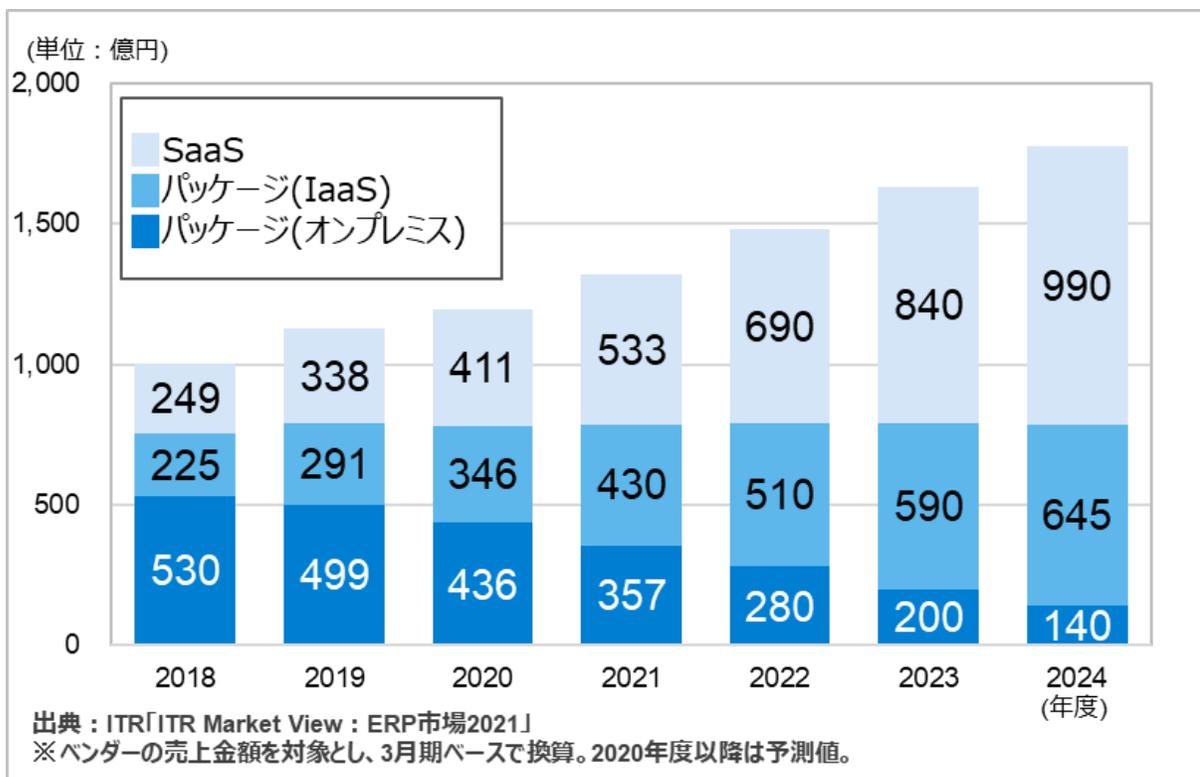
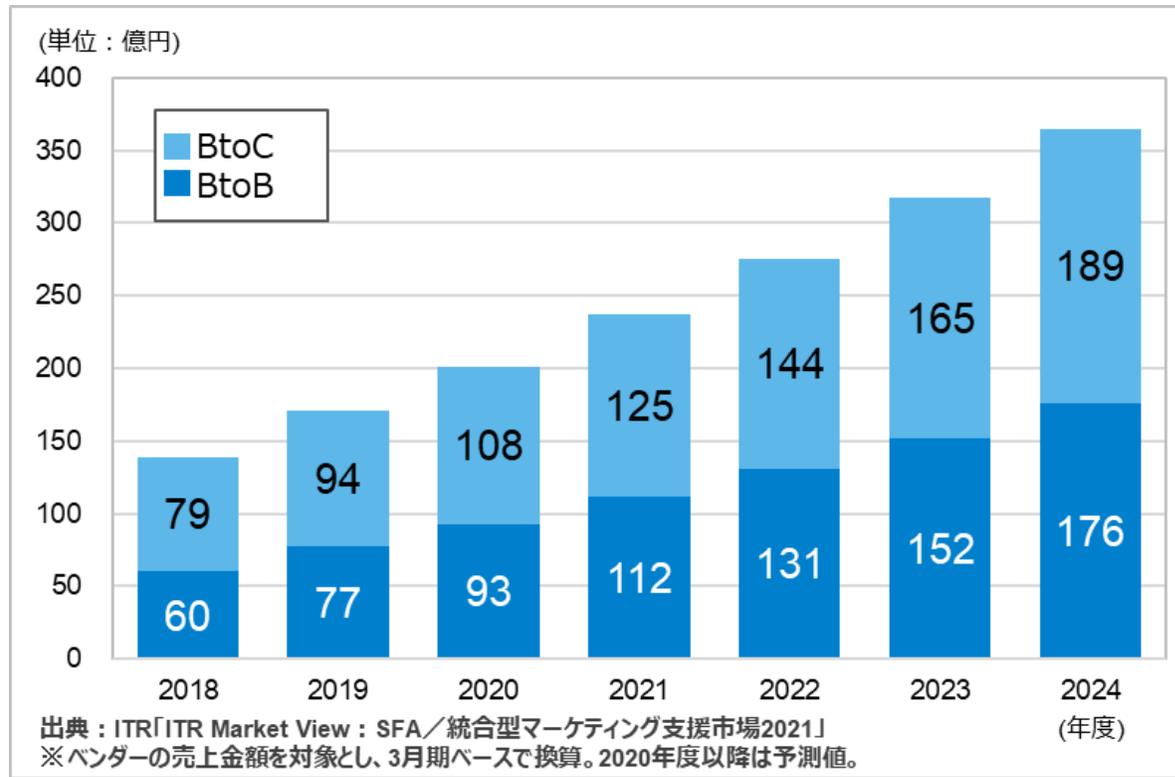


図. 統合型マーケティング支援市場規模推移および予測：BtoB、BtoC別
(2018～2024年度予測)



◆「企業経営・業務システム」事業の変遷と今後の繋がる未来

DX

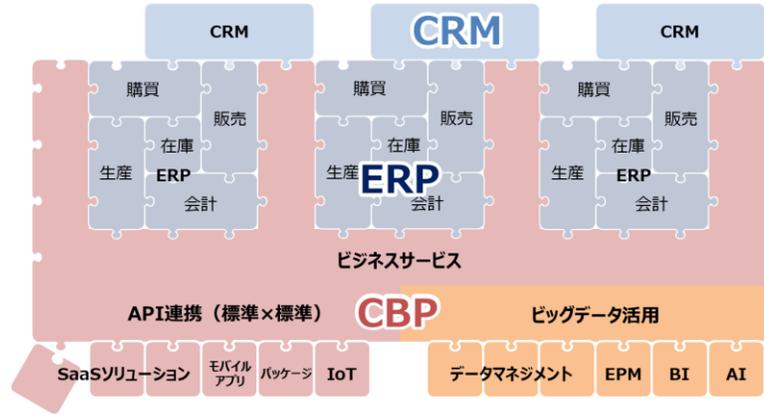
デジタル

トランスフォーメーション

中央集権型×分散型システム
 <業界最適システムの時代>

Digital
 経営・業務の高度化・シンプル化
ERP×CRM×CBP

企業内データ活用
 取引先とのデータ活用
APIエコノミー
 ビッグデータ活用



Transformation
ESG経営デジタル改革
データドリブン経営・業務

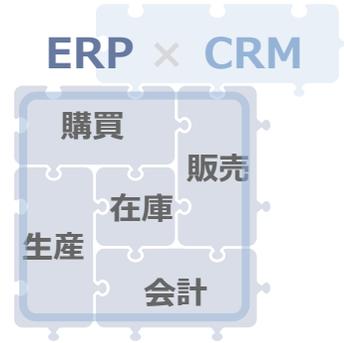
経営管理・顧客管理
 財務会計
 生産管理・在庫管理
デジタル取引連携管理
業界最適DCM/SCM

デジタルイゼーション

中央集権型システム
 <企業内最適システムの時代>

ERP×CRM

企業内データ活用



経営管理・顧客管理
 財務会計
 生産管理・在庫管理
 取引管理
企業内最適DCM/SCM

デジタイゼーション

分散型システム
 <部門最適システムの時代>

部門内データ活用



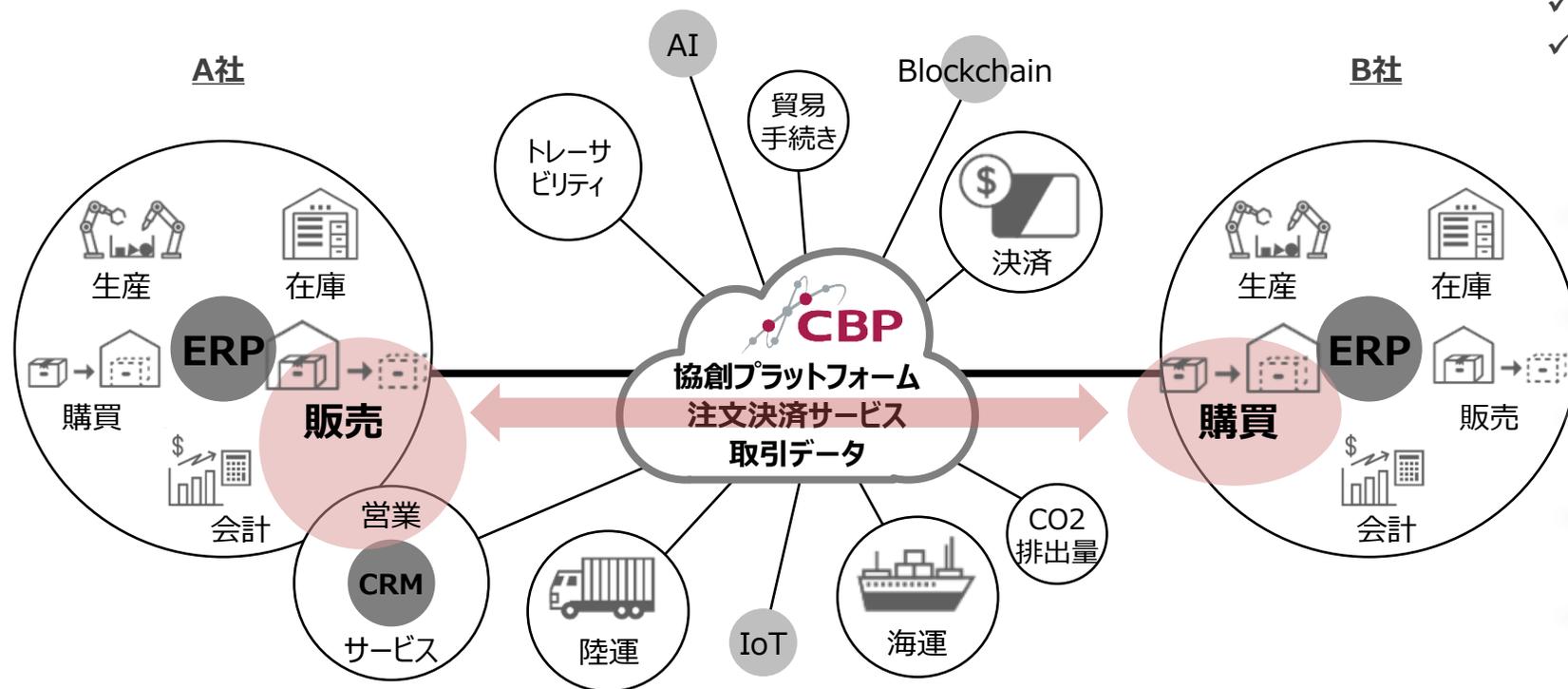
帳簿のIT化
 (手作業からの脱却)

◆ 企業経営・業務DXにおける協創プラットフォームCBPの活用

協創プラットフォームCBP上の取引データをベースとした「エコシステム」

取引データをベースにしたエコシステムで、
ESG経営・企業競争力の強化・持続可能な社会への貢献を目指す

- デジタルを活用して、
- ✓ 廃棄ロス削減
 - ✓ 環境負荷軽減
 - ✓ 気候変動緩和



企業を跨るDCM/SCMの最適化に貢献

「データ協創」×「テクノロジー協創」

取引関連事業者とのデジタル活用推進

データ連携スパゲッティ回避/解消

大企業だけでなく、
中小企業ともデジタル取引推進

取引の一連業務をデジタル化
取引先との共通データ管理、脱照合業務

取引先との「取引業務高度化」・「DCM(需要管理)/SCM(供給管理)高度化」

◆トピック：産学共同研究の開始とオフィス(ラボ)開設

企業間の商流・物流業務の効率化の実現に向けて

- 2021年4月から九州工業大学と「商流・物流の運用知識体系化とその応用に関する研究」をテーマに産学共同研究を開始
- テクノスジャパンe-ZUKAイノベーションラボとして、福岡県飯塚市新産業創出支援センター（e-ZUKAトライバレーセンター）内に研究室の機能を備えたサテライトオフィスを開設

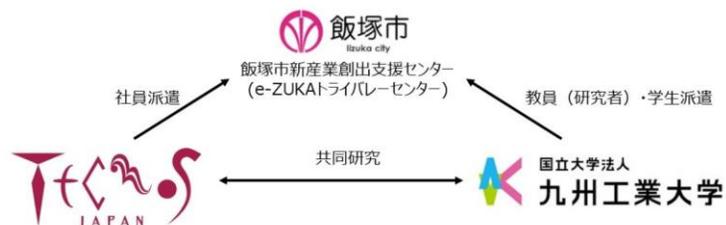


記者会見（2021年4月15日）

株式会社テクノスジャパン・九州工業大学が産学共同研究スタート —飯塚市にサテライトオフィス（研究室）を開設—

2021.04.15 **PRESS**

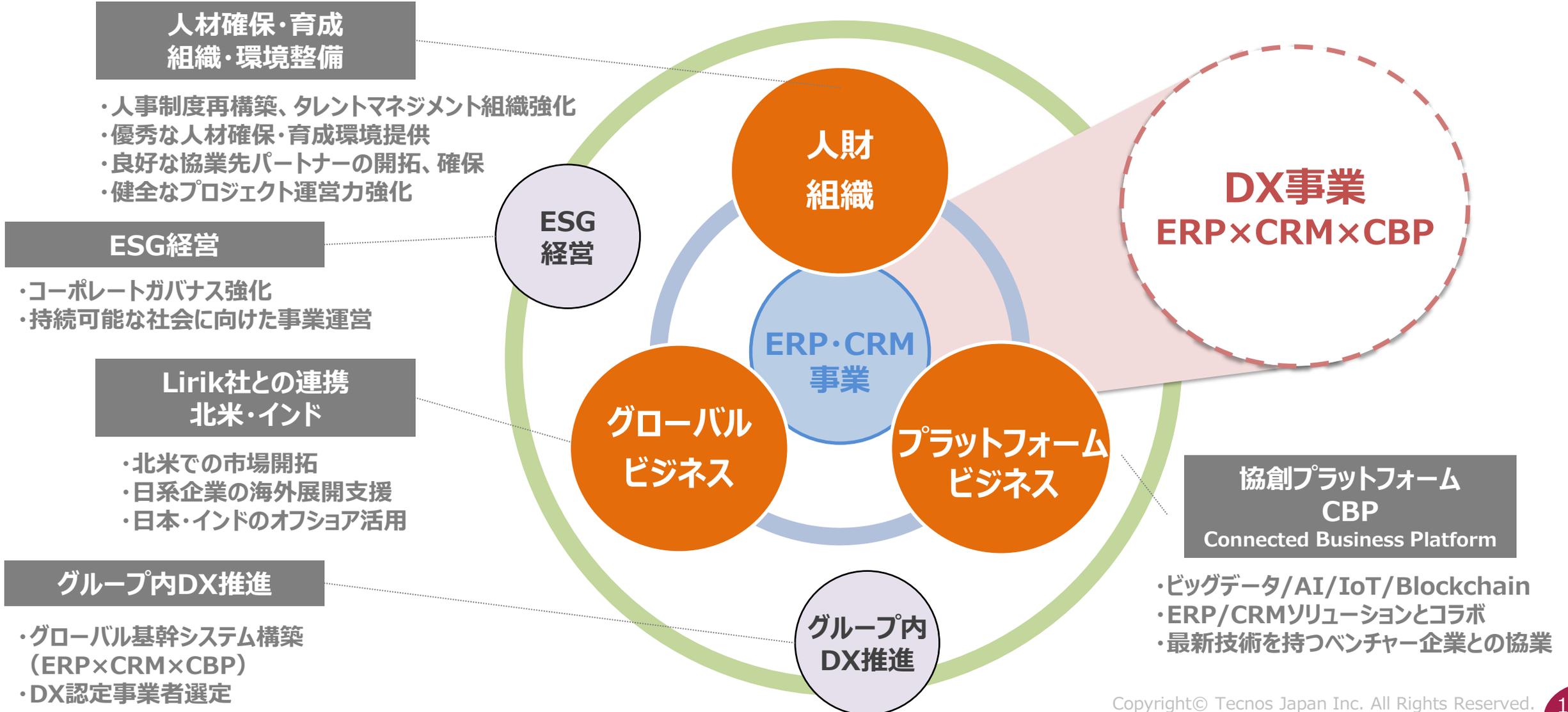
DXでつながる未来を切り拓く株式会社テクノスジャパン（本社：東京都新宿区、代表取締役社長：吉岡隆、以下「テクノスジャパン」、証券コード3666）と九州工業大学（学長：尾家祐二）情報工学部は、令和3年4月から「商流・物流の運用知識体系化とその応用に関する研究」をテーマに知識のAI化に関する産学共同研究を開始します。また、本共同研究の開始に伴い、テクノスジャパンe-ZUKAイノベーションラボとして、飯塚市新産業創出支援センター（e-ZUKAトライバレーセンター）内に研究室の機能を備えたサテライトオフィスを開設します。



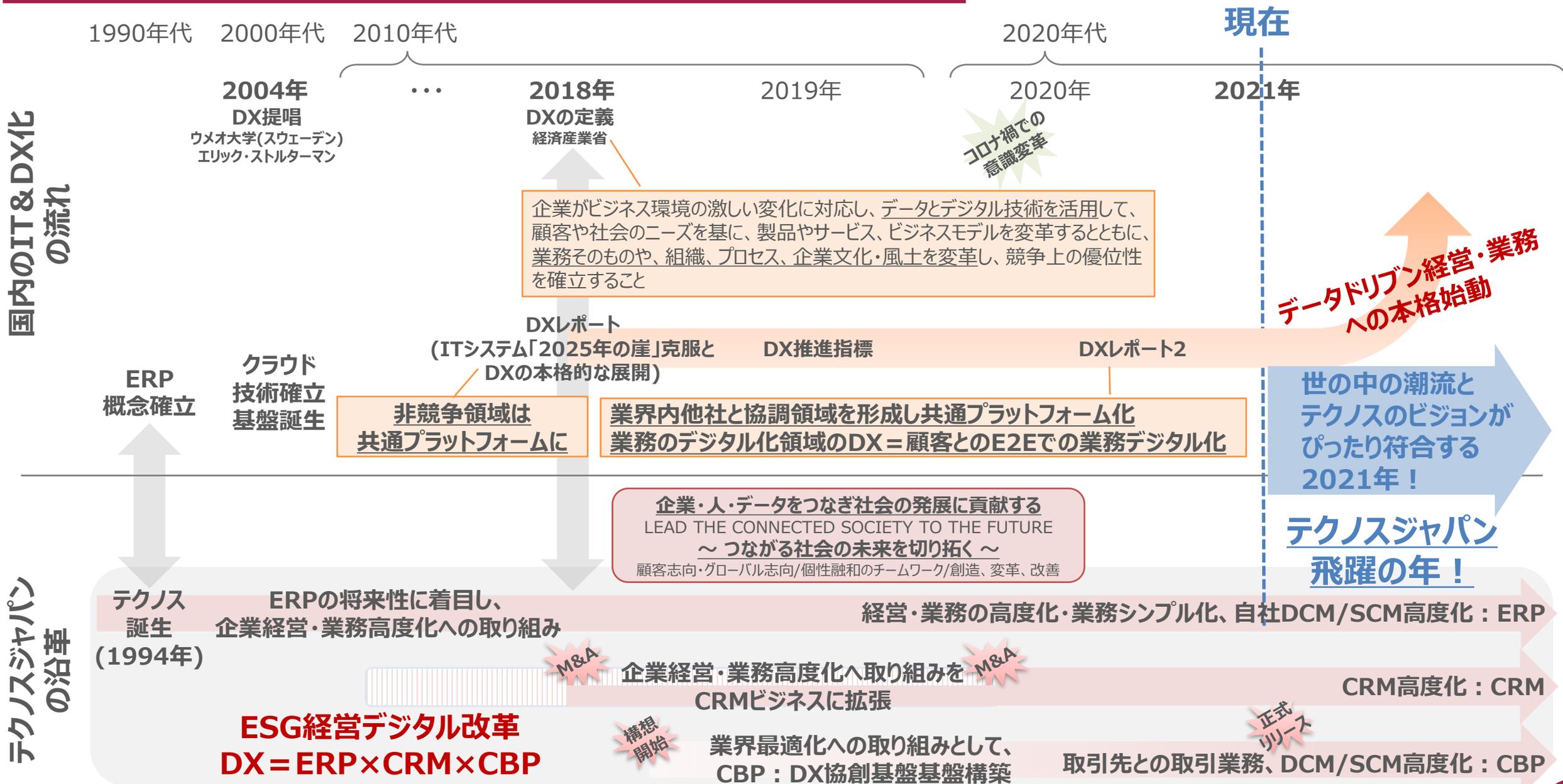
飯塚市新産業創出支援センター（e-ZUKAトライバレーセンター）

◆事業推進のための重要施策

次世代DX事業の実現に向けた成長エンジン



◆「DXレポート」と「テクノスジャパンの取組み」



第28期(2022年3月期)
業績見通

◆第28期(2022年3月期) 業績見通 (連結)

2022年3月期は引き続き成長を見込む (経常利益10億円台に)

連結 (単位: 百万円)

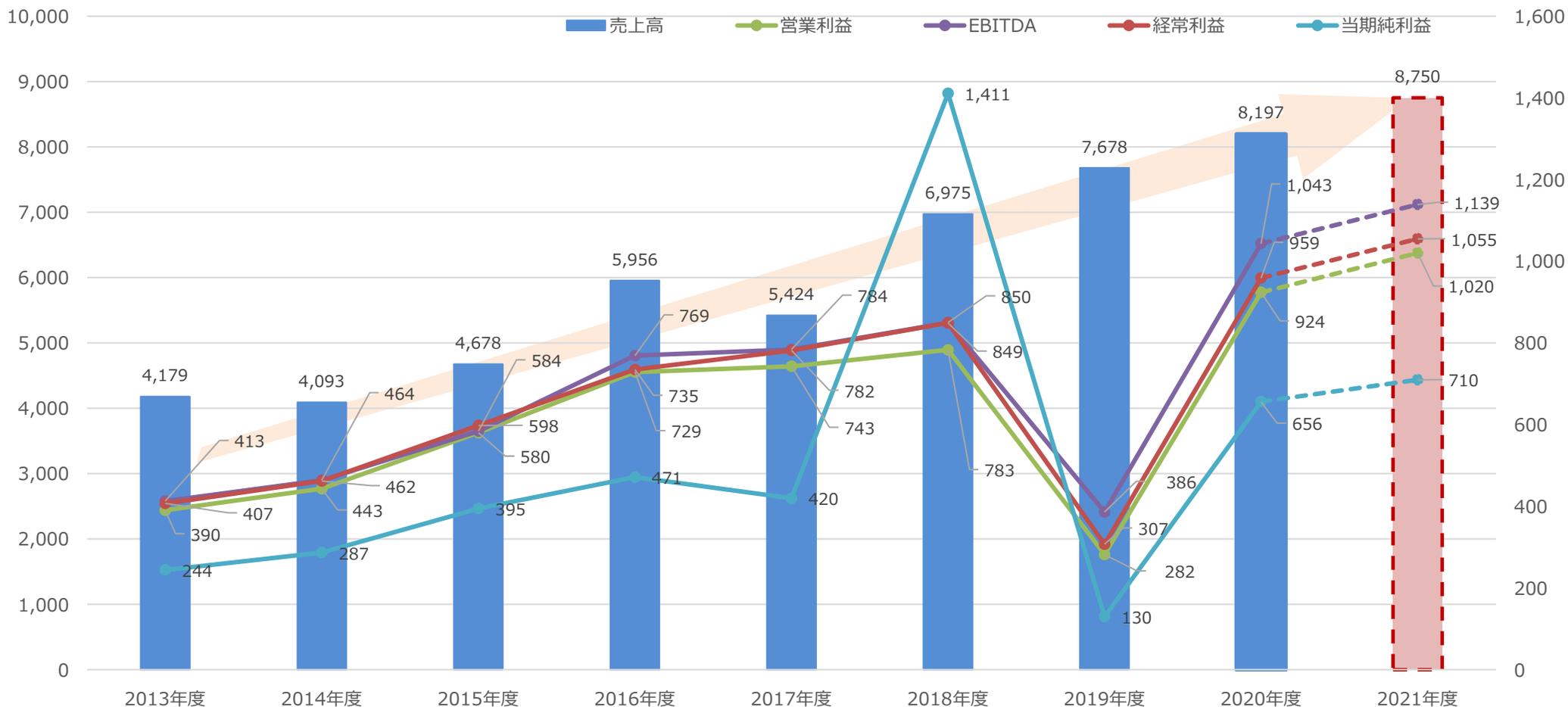
	2021年3月期	2022年3月期	前年度比	
			増減額	増減率(%)
売上高	8,197	8,750	+553	+6.7%
営業利益 (営業利益率)	924 11.3%	1,020 11.7%	+96	+10.4%
経常利益 (経常利益率)	958 11.7%	1,055 12.1%	+96	+10.0%
親会社株主に帰属する 当期純利益	661	710	+49	+7.4%
1株当たり 当期純利益 (円)	33.52	36.00	+2.48	+7.4%
自己資本利益率 ROE (%)	14.2	14.2	0	—
配当額 (円)	12	13	+1	—
EBITDA	1,043	1,139	+96	+9.2%

◆ 連結売上・利益の推移

売上、営業利益、経常利益、当期純利益ともに持続的に成長

連結（単位：百万円）

連結（単位：百万円）



◆ 配当について

2022年3月期の配当は13円（1円増配）とする

三方バランスのとれた利益還元施策

株主還元

- 長期的に安定した株主還元
- 適正な配当性向確立
- 自己株式取得

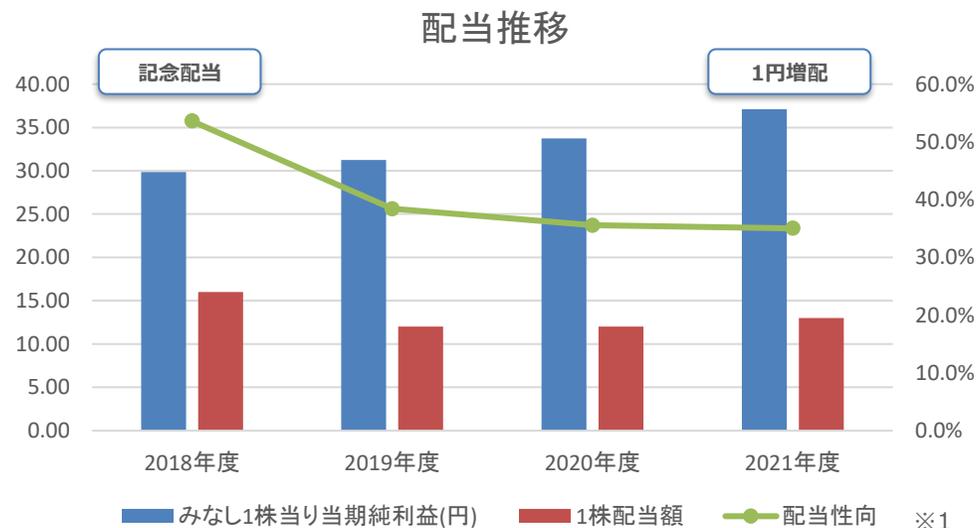
成長投資

- CBPへの投資
- 成長を支える人財への投資

財務基盤

- 健全な財務基盤を維持
- 適切な自己資本比率

株主還元施策実績と予想



配当額については、連結経常利益を基準に実効税率を加味した「みなし配当原資」（みなし純利益）に対し 35%以上を目安に配当として還元していく方針としています。

【2022年3月期の配当予想】 13円 （「みなし配当原資」に対する配当性向:35.0%）
2022年3月期は経常利益の成長を鑑み1円増配いたします。

決議事項

任期満了(7名)

- 吉岡隆
- 山下誠
- 小林希与志
- 石田実
- 千葉孝紀
- 堀部保弘（社外）
- 太田知子（社外）

取締役（監査等委員である者を除く）候補者7名

- 吉岡隆
- 山下誠
- 小林希与志
- 石田実
- 千葉孝紀
- 堀部保弘（社外）
- 太田知子（社外）

補欠の監査等委員である
取締役候補者1名

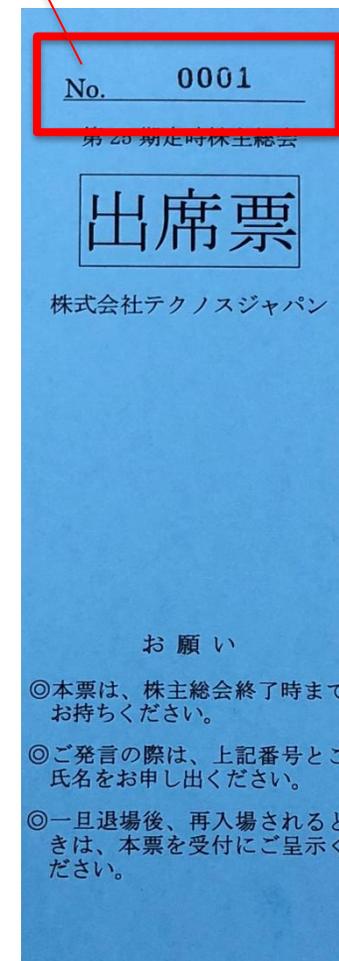
- 堀部保弘（社外）

報告事項および決議事項に関するご質問

◆ 報告事項および決議事項に関するご質問について

- ご発言を希望される方は、挙手ください。
- 議長の指名を受けられた後に、前方左右にありますマイクまでお進みください。
- ご発言の際には、出席票の番号をお伝えください。
- 要点を簡潔にまとめてご質問ください。
- 本総会は株主様に限定して、インターネットによるライブ中継を実施しております。撮影は役員席のみとし、株主様が映らないよう極力注意をしておりますが、会場中央を横切るとカメラに映ってしまうことがありますので、ご質問の際は左右の近い方のマイクにお進みください。
- 個人情報保護の観点から、ご発言の際はお名前や株主番号などは仰らず、「出席票の番号」と「ご質問」のみ、ご発言いただけますようお願い致します。

出席票の番号



議案の採決

第1号議案 取締役（監査等委員である 取締役を除く）7名選任の件

- 吉岡隆
- 山下誠
- 小林希与志
- 石田実
- 千葉孝紀
- 堀部保弘（社外）
- 太田知子（社外）

第2号議案 補欠の監査等委員である 取締役1名選任の件

- 堀部保弘（社外）

取締役のご紹介

取締役 (監査等委員である取締役を除く)

- 吉岡隆
- 山下誠
- 小林希与志
- 石田実
- 千葉孝紀
- 堀部保弘 (社外)
- 太田知子 (社外)

監査等委員である取締役

- 窪田茂
- 毛利正人 (社外)
- 大嶋義孝 (社外)

ご審議ありがとうございました。
一層のご支援ご鞭撻を賜りますよう
よろしく申し上げます。



LEAD THE CONNECTED SOCIETY TO THE FUTURE

～ つながる未来を切り拓く ～